

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」

平成 30 年 7 月 30 日  
村山 章

高知県四万十市で日本の観測史上最高気温の 41.0℃を記録したことが、かつて話題になりました。2013 年の 8 月 12 日の出来事でしたが、今年の 7 月 23 日には、四万十市の前の観測記録をもっていた埼玉県熊谷市が、41.1℃と最高気温の数値を再び塗り替えました。気温が高くなれば、それに比例して水分の蒸発量が多くなり、雨が降る量が増えてくるのは当然です。平均して降ってくればよいのですが、限度以上に集中して降るために甚大な被害をもたらします。先日の西日本豪雨では、200 名以上の方が犠牲となりました。身内の突然の死は、悲しみではなく苦しみとなります。豪雨に炎暑、そしてこれから来るのは台風でしょうか。被災された方々は、これでもかこれでもかと襲ってくる自然災害に苦しみ抜いていることと思います。飛んで行って助けたくても、それも単純にはいきません。せめて被災者の方々に思いを寄せて、日々の自分の仕事や活動に精進したいと思います。

日本は元々地震の多い国ですが、火山噴火もあり、台風も日本にばかり襲ってくるような感じを受けます。これらに加え、炎暑と豪雨が近年多くなりました。また西より東の方が先に梅雨明けしたり、今回のように東から西に台風が進むなど、過去の経験が役立たない気象現象が目立っています。

自分自身を含め、みんないつ自然災害に襲われてもおかしくないような現状です。何はともあれ被害を少しでも少なくするために、日頃からの対策が重要と思います。

「大阪府北部地震」では、崩れたプールのブロック塀で小学校 4 年生の女子が亡くなったとの報道がありました。いたたまれない悲しさが沸き上がります。ブロック塀に対する高槻市教育委員会の見識が欠けていたための事故で、絶対にあってはならない不幸な出来事でした。

人様の苦しみを救う方法は支え合う心、寄り添う心だと思います。せめて被災者の方々に思いを寄せて、日々精進したいものと思います。